

山岳遭難発生状況

(令和8年1月1日～令和8年3月1日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和7年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和8年	32	6	1	6	26	39
令和7年	29	5	0	10	22	37
前年同期比	3	1	1	-4	4	2

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北ア	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	13	40.6%	4	1	2	17
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
計	13	40.6%	4	1	2	10	17
中央アルプス	2	6.3%	0	0	0	2	2
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0
八ヶ岳連峰	6	18.8%	1	0	2	5	8
その他の山岳	11	34.4%	1	0	2	9	12
計	32		6	1	6	26	39

3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	6	18.8%	2	0	4	0	6
転倒	1	3.1%	0	0	1	0	1
病気	4	12.5%	2	0	0	2	4
道迷い	8	25.0%	0	0	0	11	11
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	2	6.3%	1	1	0	0	2
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	3	9.4%	0	0	0	3	3
不明・他	8	25.0%	1	0	1	10	12
計	32		6	1	6	26	39

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	2	2	16 55.2%	0	0	0	2	2	6 60.0%	4	22 56.4%
20代	1	0	1	9	11		0	0	0	3	3		14	
30代	1	0	0	2	3		0	1	0	0	1		4	
40代	1	0	2	1	4	9 31.0%	0	0	0	0	0	2 20.0%	4	11
50代	1	0	1	3	5	4 13.8%	0	0	1	1	2	2 20.0%	7	28.2%
60代	1	0	0	3	4		1	0	1	0	2		6	6
70以上	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	15.4%
計	5	0	4	20	29		1	1	2	6	10		39	
比率	74.4%						25.6%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（2/24～3/1）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
2月28日	ハケ岳連峰 赤岳	男	26	無事救出	道迷い	2人パーティで赤岳から下山中、道に迷い、行動不能
3月1日	北アルプス 西遠見山	男	63	死亡	滑落	2人パーティで西遠見山から大遠見山に向けて下山中、滑落

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、2件の山岳遭難が発生し、うち1件が死亡遭難でした。
ハケ岳連峰赤岳で発生した遭難は、赤岳山頂に登頂後、下山中に道に迷い行動不能となり、一晩ビバークし、翌日、救助されたものです。
遭難者は、登山地図アプリを使用していたものの、現在地やルートの確認をしないまま、下山をしたため道に迷い、遭難したものです。
登山地図アプリやGPS、紙地図は持っているだけでは意味がありません。現在地の確認や分岐ごとに進行方向を確認し、定期的にルートの確認をすることが大切です。登山中に、違和感を感じた場合には、一度立ち止まり、現在地を確認しましょう。
また、万が一遭難し、救助要請したとしても、時間帯や天候によっては、すぐに救助することができない場合があります。日帰り登山の計画でも、ビバーク装備等を必ず携行しましょう。
入山前には登山道の状況を確認し、最新の気象情報を把握したうえで、自分のレベルに見合った山域を選び、無理のない登山計画をお願いします。